

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	秋川キララホール
	所在地	あきる野市秋川一丁目16番地1
	所管課	教育部生涯学習推進課生涯学習係
指定管理者	名称	秋川キララホール運営共同事業体
	所在地	東京都千代田区三番町2番地
	業務内容	1 文化ホール及びこれに附属する設備の使用に関すること。 2 市民の文化活動を推進するための事業に関すること。 3 文化ホール及び附属設備等の維持管理に関すること。 4 あきる野市教育委員会が必要と認める事業に関すること。 5 その他指定管理を行う上で必要な業務に関すること。
ホームページURL		http://akigawa-kirarahall.jp/
指定期間		令和5年4月1日から令和10年3月31日まで

2 施設の利用状況等について

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開館等日数(日)	306	260	277	306	307
利用者(来客者)数(人)	59,176	9,575	20,646	37,248	48,378
前年度比(人)	△8,215	△49,601	11,071	16,602	11,130
前年度比(%)	87.8	16.2	215.6	180.4	129.9
利用料金(売上)合計(千円)	19,405	6,914	13,613	17,433	18,858
前年度比(千円)	△3,074	△12,491	6,699	3,820	1,425
前年度比(%)	86.3	35.6	196.9	128.1	108.2

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入	指定管理料	68,074	69,101	68,275	69,103	72,521
	使用料収入(売上)	19,405	6,914	13,613	17,433	18,858
	主催事業収入	19,306	7,006	12,695	18,734	13,204
	自主事業収入	4,861	88	120	174	-
	共催事業収入	-	-	-	-	-
	その他の収入	2,218	4,104	859	1,747	-
	公共施設安定運営補償金	-	-	-	3,890	-
計	113,864	87,213	95,562	111,080	104,583	
支出	人件費	34,670	29,830	34,444	33,244	32,520
	施設維持管理経費	29,763	26,176	29,884	33,893	35,244
	運営管理費	42,429	22,015	34,559	44,445	36,404
	自主事業関係経費	5,129	784	448	944	-
	その他の支出	-	-	-	-	-
	コロナウイルス影響による違約金等	-	293	-	-	-
計	111,992	79,098	99,335	112,525	104,168	
収支(収入-支出)		1,872	8,115	△3,774	△1,445	415

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
・貸館事業については、ホール利用者に使いやすさや設備などについて、アンケート（筆記形式）を実施しました。主催・自主事業についても同様に、お客様にアンケート用紙をお渡しし、内容を評価していただきました。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
・ロビー、受付付近にモニター設置の希望がありました。来場客の案内時に、ホール内の進行状況を把握するためとのことでしたが、有料公演の関係から設置できない旨を回答しました。ロビー、受付付近には、ホール内の音声は流れるようになっており、ホワイエには小型モニターを設置しているので、そちらの利用を案内しました。 ・以前より要望のあったサービスとして、4月に窓口でのキャッシュレス決済、12月にインターネットによるチケット販売を開始しました。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
・ミュージックアンバサダー（音楽大使）によるアウトリーチ、ヨルイチでのミニサートにより、ホールに限らず、様々な場所に音楽を届ける活動を行うとともに、参加者にチラシ配布を行うなど広報活動し、ホールに来場してもらうための取組をしました。 ・エントランスロビーコンサートを4回開催し、毎回エントランスを埋め尽くすほどの来場があり、この機会を利用して公演の案内をするなど、広報活動を行いました。 ・自主事業として実施した「スタインウェイを弾きませんか」と「キララホールを使ってみませんか」では、7日35枠に対して30組の利用がありました。他の予定との兼ね合いで前年の10日50枠より貸出し枠は少ないものの利用率は増加し、利用者からは今後更に機会を増やしてほしい旨の声もありました。 ・窓口でのキャッシュレス決済を開始し、支払いの簡便化、効率化、サービス向上につながっております。 ・オンラインチケット販売システムを導入し、チケット購入する際の利便性を向上することができております。利用者から良い評価の声もいただき、今後のチケット販売数増加につなげてまいります。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
・特に電気料金については、年度初めに電力供給会社を切り替え、電気単価が下がったことと、舞台技術担当者との連携で節減に努めたことで、光熱水費全体で前年より約24%低減できました。 ・令和6年度以降、インターネット回線及び電話回線契約の見直しを行い、月々の料金が以前より約50%低減できる見込みとなりました。これにより、インターネット回線速度も上がり、業務の安定性にもつながる見込みです。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
ホールの稼働率は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の水準に戻り、使用料収入（売上）は前年度比108.2%と伸長しました。また、事業においては2公演（アンバサダーお披露目コンサート、東京大衆歌謡楽団）のチケットが完売となり、親子鑑賞会も延べ1,000人を超えるなど、多くの方に足を運んでいただきましたが、一部公演では来場客数が伸びない状況もあり広報活動の強化を図るなど、改善に努めます。 支出については、特に光熱水費の削減が大きく貢献し、全体的な経費節減にも取り組んだことから、前年よりも経費を削減することができました。 来場客数は、いまだ新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の水準までは届いておらず、引き続き利用の増加、来場客数の増加に向けて魅力的な公演の開催や広報宣伝活動の強化を図るとともに、市民との協働やアウトリーチなどにより、地域に根ざした取組を進めることで、地域の音楽文化の振興に努めてまいります。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上
利用者から要望のあった、キャッシュレス決済やオンラインチケット販売などを導入し、創意工夫によりサービス向上が図られています。
経費削減の取組

経費の節減を行い、支出を削減できています。特に、光熱水費については、今後も単価の上昇が予想されますので、引き続き、節減に努め、経費削減に努めてください。

業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価

利用者数が新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の数値に回復傾向にありますので、アンケートの継続実施により、より良いサービスの提供に努めてください。

総合評価	A
------	----------

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。